

かながわ畜産まめ知識

ヒヨコとたまごの話

ヒヨコのオス、メスを調べる方法

ニワトリはヒヨコの時には、♂(オス)も♀(メス)も同じ大きさで生殖器も発達していないため見分けが付きません。タマゴを産むのは♀だけですから、オスとメスを出来るだけ小さいうちに分けることはとても重要になります。1925年に日本で開発された「**肛門鑑別**」という退化しかけた生殖突起の有無で調べる方法は画期的技術として、海外へも普及しました。ただし、鑑別精度が鑑別師の熟練度に左右されることなどから、最近では「**羽色鑑別**」という羽の色で区別できるニワトリや、「**羽毛鑑別**」という主翼羽の伸長の差で区別できるニワトリも開発されています。



羽色鑑別



羽毛鑑別
この主翼がふでは短い

ヒヨコはタマゴのどこからできるの？

見学に来られる方(大人も子供も)とお話をしていると、黄身がヒヨコになると思っている人が多いです。ちょうど、黄身の色とヒヨコの羽の色が似ているところから、勘違いしているようです。実際は、**胚(はい)**という黄身の上にある**3~4mmの白い斑点**のところからヒヨコに成長していきます。右の写真の枝分かれした血管の真ん中にあるのが**胚**というヒヨコになるところです。胚はこの黄身や白身を栄養にして約21日でヒヨコになります。食品として見てしまいがちなタマゴですがその中にはヒヨコを育てる栄養がつまっているんですね。



色いろタマゴの中身の色は？

スーパーやデパートなどで販売しているタマゴの殻の色は、**白色**が圧倒的に多く、次に**褐色**で、**ピンク卵・桜色**(褐色と白の中間色)もときどき見られます。また農家の直売場では、まれに**青色**の殻のタマゴがあります。これは**アロウカナ**という品種のタマゴです。**どの殻の色のタマゴでも中身は同じ黄身や白身**です。

